

社会科学学習指導案（地理的分野）

学 級： 2年2組 38人
場 所： 2年2組 教室
指導者： 教諭 久保 長太郎

1 単元名 関東地方ーさまざまな地域と結び付く人々の暮らしー

2 単元について

(1) 教材観

本単元は、学習指導要領[地理的分野]2内容(1)「日本の様々な地域」ウ「日本の諸地域」の中項目を受けて構成した単元である。ここでは、日本を幾つかの地域に区分し、それぞれの地域の特色ある地理的事象や事柄を他の事象と有機的に関連付けて追究する活動を通して、日本の諸地域の地域的特色を捉えさせることを主なねらいとしている。

前単元では、中部地方について学習し、中部地方の産業の地域的な違いについて、地形や気候などの自然的条件と、交通網や外国との関係などの社会的条件との両面から考察して、各地域の特色を捉える活動を行わせてきた。関東地方の地域的特色を捉えさせるに当たっては「他地域との結び付き」を主題として、単元の構成を行う。そして、特に東京と他地域との結び付きを多面的・多角的に考察し、追究する活動を通して、地理的な見方や考え方の基礎を養い、関東地方の地域的特色を理解させたい。

(2) 生徒観

本学級の生徒は、教師の指示を素直に聞き、作業学習にも集中して取り組むことができている。また、新聞・ニュース等で報道されている時事問題に関する問い掛けに対し、積極的に発言する生徒が多いことから、社会の学習（社会的事象）に高い関心を示していると思われる。また、アンケートによる調査から、社会科に「興味・関心をもっている」と答えた生徒が、38人中35人であったことから、学級全体で社会科の学習に積極的に取り組む雰囲気ができていると考えられる。

その一方で、社会的事象に関する基礎的・基本的な知識や、資料を基に思考を深め、自分の考えを整理して記述したり、説明したりする能力が全ての生徒に十分身に付いているとは言えず、これらの能力を高めることについては課題が見られる。

また、平成29年度教研式NRT検査において、全国平均を上回っているが、平成28年度鹿児島学習定着度調査では、思考力・判断力・表現力を問う問題に対する通過率は低い。これらのことから、基礎的・基本的知識は身に付いていると考えられるが、思考力・判断力・表現力が十分に身に付いていないことが分かる。そこで、習得した知識を活用して、社会的事象に対する思考力・判断力・表現力を育成していくことが、今後の教科指導の重点であると考えている。

(3) 指導観

指導に当たっては、関東地方の地理的事象を概観させながら、生徒の興味・関心を高め、基礎的・基本的な知識の定着を図りたい。

また、「他地域との結び付き」を中核として地域的特色を捉えさせる過程において、東京に人・物・情報が集まる理由を調査させたり、調査した結果を発表させたりする。

更に単元の終末には、関東地方で他地域との強い結び付きが見られる背景や現状、課題について論述させたり、意見交換させたりすることにより、思考力・判断力・表現力を育成していきたい。

3 単元の指導目標

- 関東地方の地域的特色を理解させるために、「なぜ、関東地方では、他地域との強い結び付きが見られるのでしょうか」という追究テーマを設定し、意欲的に追究させる。

【社会的事象への関心・意欲・態度】

- 追究テーマを追究していく過程において、その地域的特色と課題を多面的・多角的に考察させながら、その成果を様々な方法で表現させる。

【社会的な思考・判断・表現】

- 関東地方に関する様々な資料の読み取りや比較・関連付けなどの地理的技能を活用して、日本各地や世界との結び付きを捉えさせる。

【資料活用の技能】

- 関東地方の地域的特色を様々な資料を通して理解させ、その知識を身に付けさせる。

【社会的事象についての知識・理解】

4 単元の指導計画

(1) 評価規準

ア 社会的事象への関心・意欲・態度	イ 社会的な思考・判断・表現	ウ 資料活用の技能	エ 社会的事象についての知識・理解
<p>① 関東地方の自然環境、人口、産業等の特色について概観する中で、特に他地域との結び付きに関心を持ち、設定した追究テーマを基に地域的特色を意欲的に追究している。</p> <p>② 東京と関東地方各地、関東地方と他地方、関東地方と世界各地との結び付きについて関心を持ち、その在り方について意欲的に追究している。</p>	<p>① 関東地方の地域的特色を、他地域との結び付きを中核とした考察を基に多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>② 地域間の結び付きとその変容について、相互依存関係に注目して考察している。</p>	<p>① 関東地方の地域的特色に関する各種の地図や統計、写真などの資料を収集している。</p> <p>② 収集した資料から、関東地方の地域的特色について、有用な情報を適切に選択して、それを基に読み取ったり、図表などにまとめたりしている。</p>	<p>① 関東地方について、自然環境や人口、産業などの特色を大まかに捉えている。</p> <p>② 関東地方について、他地域との結び付きを中核とした考察を基に地域的特色を理解し、その知識を身に付けている。</p>

(2) 指導と評価の計画

時間	指導内容	評価規準
1	<ul style="list-style-type: none"> 関東地方の地形や気候を表す資料を基に、地域的な特色を大まかに捉えさせる。 大都市特有の気候、環境の変化について捉えさせる。 	<p>エー①</p> <p>ウー②</p>
2	<ul style="list-style-type: none"> 関東地方は人口が多く、産業が盛んであることを、様々な資料から読み取らせ、理解させる。 これまでの学習を踏まえて、追究テーマに対する予想を立てさせる。 	<p>ウー①</p> <p>アー①</p>
3 (本時)	<ul style="list-style-type: none"> 東京にさまざまな機能が集中し、東京と日本や世界各地との結び付きが強いことを捉えさせる。 東京の都心部と郊外との結び付きについて、多面的・多角的に考察させる。 	<p>エー②</p> <p>イー①, ②</p>
4	<ul style="list-style-type: none"> 関東地方の工業の特色を、臨海部と内陸部の結び付きに着目しながら捉えさせる。 関東地方の農業地域や観光地について、東京の市街地の拡大とその結び付きと関連付けて理解させる。 	<p>エー②</p> <p>アー②</p>
5	<ul style="list-style-type: none"> 複数の資料から、関東地方と日本各地や世界との結び付きを多面的・多角的に捉えさせる。 関東地方の特色を、日本各地や世界との結び付きに着目して捉えさせる。 	<p>イー①</p> <p>ウー②</p>
6	<ul style="list-style-type: none"> 地図や写真、主題図などの資料から、関東地方について振り返り、整理させる。 「なぜ、関東地方では、他地域との強い結び付きが、見られるのでしょうか」という単元の追究テーマについて、既習事項を生かしてまとめさせる。 	<p>エー②</p> <p>イー①, ②</p>

5 本時の実際 (3/6)

(1) 題材名 首都・東京と各地との結び付き

(2) 学習目標

- 東京には様々な機能が集中し、東京と日本や世界各地との結び付きが強いことを捉えることができる。
- 東京の都心部と郊外・他地域との結び付きについて、多面的・多角的に考察することができる。

(3) 「判断基準」の設定

学習課題1：なぜ、東京に人口が集中するのか。また、都市問題に対して、どのような対策がとられているだろうか。

学習課題2：東京オリンピックなどは、都市機能にどのような影響を与えるだろうか。

評価規準	○ 東京の都心部と郊外との関係を、通勤・通学と、都市機能の分散の両面などから、多面的・多角的に考察できている。
評価の場面	○ 終末時における課題解決場面（まとめ）
評価の対象	○ 学習課題に対して生徒がまとめた内容
判断の要素	○ 東京と他の地域との関係
判断基準B	○ 東京に人口が集中する理由と都市問題に対する対策について、資料を基に考察し、その結果を述べている。 【予想される生徒の表現例】 東京は、政治・経済の中心地であり、様々な都市機能が集まるため、人口が集中している。また、都市問題に対して、東京から周りの地域に都市機能を分散させるなどの対策をとっている。
判断基準A	(判断基準Bに加えて) ○ 東京オリンピックなどによる再開発がもたらす影響について、現在と昔の様子を表す資料等を基に考察し、その結果を述べている。

(4) 研究の取組

ア 「見通し」・「振り返り」の手立ての工夫

(7) 実社会や既習事項に関連した資料の提示による学習課題の設定

導入時において、既習事項の「世界から見た日本の人口」に関する資料を提示することで、生徒の興味・関心を高めさせる。更にそこから学習課題を提示することにより、学習課題に対する見通しをもたせる。

(4) 課題解決場面において自覚・方向付けを促す振り返りカード（「判断基準」）の活用

課題解決場面において、単元のテーマに対する自分の考えを振り返りカードにまとめさせ、「判断基準」を基に自覚・方向付けを行わせる。

イ 積極的に交流・探究させる手立ての工夫

(7) 生徒が主体的・対話的で深い学びを行うための学習課題の設定

判断基準Aを基にした学習課題（東京オリンピックなどは、都市機能にどのような影響を与えるだろうか。）を設定し、個で考えさせた後、グループで練り上げさせる。

(4) より深い思考を促すワークシートの活用

課題追究場面において、課題を解決する上で必要な思考のパターンにつながるワークシートを活用させ、より深い思考を促す。

(5) 展開

過程	時間	形態	学習活動	指導上の留意点	研究の取組
導入	5分	一斉	1 資料を基に、本時の学習課題を設定する。	・ ICTを活用して資料を提示し、学習課題への追究意欲を高めさせる。	
			なぜ、東京に人口が集中するのか。また、都市問題に対して、どのような対策がとられているだろうか。		ア-(7) 前時までの学習内容を生かした学習課題を設定する。
展開	7分	個ペア	2 東京に人々が集まる理由と都市問題に対する対策について考える。 ・ 政治・経済の中心であること ・ 外交の拠点であること ・ 日本最大の消費地であること ・ 情報や流行の発信地であること ・ 都市問題が起きたため、都市機能を各地に分散させていること	・ 教科書や資料を基に、東京と他の地域との関係についてまとめさせる。	
開	5分	個	3 東京オリンピックなどが、東京と他の地域に与える影響について考える。	・ これまでに習得した知識・技能を活用して、東京オリンピックなどが都市機能に与える影響について考えさせる。	イ-(7) 主体的・対話的で深い学びを行うために、判断基準Aを基にした学習課題を設定する。
	13分	グループ	東京オリンピックなどは、都市機能にどのような影響を与えるだろうか。		イ-(1) 思考を深めさせるワークシートを使って考察させる。
	10分		4 グループごとに発表する。		
終末	10分	個・一斉	5 学習課題に対するまとめをする。	・ 個人で考えた後、全体でまとめさせる。	ア-(1) 振り返りカードを使って、まとめた内容を確認させる。
			東京は、政治・経済の中心地であり、様々な都市機能が集まるため、人口が集中している。また、都市問題に対して、東京から周りの地域に都市機能を分散させるなどの対策をとっている。 東京オリンピックで選手村などが建設される臨海部などを中心に、都心の再開発によって高層ビルが増え、郊外の住宅地から都心近くに引っ越す人も増え、都心部がより一層発展しつつある。		